

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所

電子公告により行う。  
公告掲載URL  
[https://www.jeol.co.jp/corporate/ir/public\\_notice/index.html](https://www.jeol.co.jp/corporate/ir/public_notice/index.html)  
公告方法  
(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒196-8558  
東京都昭島市武蔵野3-1-2  
TEL.042-543-1111 FAX.042-546-3353

## WEBサイトのご紹介

株主の皆様にご理解いただくため、主な当社製品の仕組みや応用についてわかりやすく解説するページや、用語集など充実を図っています。  
詳しくはトップページの「やさしい科学」、「用語集」からご覧ください。

<https://www.jeol.co.jp/>



## 株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **6951**

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

[kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp) ←こちらへ空メールを送信  
[件名]「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 ●ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます

本アンケートは、株式会社a2mediaの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.a2media.co.jp>  
●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL:info@e-kabunushi.com (2/108)

証券コード：6951



# 第75期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



アンケートに  
ご協力ください

抽選で  
図書カード500円分を  
プレゼント

日本電子株式会社

ショットキー電界放出形走査電子顕微鏡 JSM-IT800 (is)



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。



## ●株主の皆様へ



代表取締役会長兼CEO

栗原 権右衛門

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第75期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向にあり、経済活動についても徐々に緩和されつつあるものの景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況下、JEOLグループは、中期経営計画「Triangle Plan 2022」(2019年度～2021年度)に掲げる重点戦略を強力に推進し、当中期経

### 経営理念

日本電子は「創造と開発」を基本とし常に世界最高の技術に挑戦し製品を通じて科学の進歩と社会の発展に貢献します



代表取締役社長兼COO

大井 泉

営計画期間のみならずそれ以降の更なる成長に向けた次の打ち手を実行することにより企業価値の向上および経営基盤の強化を図りつつ、受注・売上の確保に努めました。この結果、後記にご報告のとりの業績となりました。

配当につきましては、業績および財務状況等を勘案した結果、中間期での配当を1株当たり14円とさせていただきます。

株主各位におかれましては、一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

## ●中期経営計画

# Triangle Plan 2022

(2019-2021年度)

中期経営計画「Triangle Plan 2022」では、「Triangle Plan」の方向性を基本としながら、「70年目の転進」による成長の加速と中期経営計画以降の更なる成長に向けた次の打ち手を実行することで、長期にわたる継続的な成長を目指します。

## コーポレートメッセージ Solutions for Innovation

お客様の明日への革新を実現する最適なソリューションを提供します

### 基本的な考え方

創立70周年を迎える中「70年目の転進」として以下に取り組んでいきます。

#### 1 コアテクノロジー強化

JEOLグループが社会に提供する付加価値の源泉であるハイエンドの計測・分析技術(=コアテクノロジー)を継続的に発展させていく。

#### 2 成長市場への積極参入

コアテクノロジーをベースに、規模が大きく更なる拡大が見込まれる市場(半導体機器/産業機器/バイオ・医用機器/海外)へ積極的に参入し、成長を加速させていく。

#### 3 トータルソリューションの提供

装置だけではなくユーザーのワークフロー全体を見据え、使い勝手の向上や効率化につながるサービスを含めたトータルソリューションを提供していく。

#### 4 必要な投資と収益性向上への取り組み

事業の規模や範囲が拡大していく中で事業機会を確実に取り込むため、必要な投資をタイムリーに行っていく。同時に効率化を推進し収益性の向上に不断に取り組んでいく。

2021年度業績予想

連結売上高 **1,280** 億円

連結経常利益 **106** 億円

2021 4月 Microanalysis Society (MAS) 「Presidential Science Award」の受賞

2021年のMAS (米国・マイクロビームアナリシス学会)の「Presidential Science Award」が、当社の高橋秀之に授与されました。本賞は毎年、長期間にわたるマイクロアナリシス分野への卓越した技術的貢献を行った科学者に授与されています。高橋は、当社入社以来、電子プローブマイクロアナライザーや軟X線分光器の開発や応用技術に従事しており、長年のマイクロアナリシス分野への貢献が認められ、今回の受賞となりました。



2021 9月 「羽ばたく女性研究者賞」(マリア・スクウォドフスカ=キュリー賞)に協賛

「羽ばたく女性研究者賞」(マリア・スクウォドフスカ=キュリー賞)は、科学技術振興機構が駐日ポーランド大使館との共催により創設した、国際的に活躍が期待される日本の若手女性研究者の表彰制度です。協賛を通じてこの事業を応援してまいります。

2021年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

[用語集]

<https://www.jeol.co.jp/words/>



2021 6月 リガクと共同開発した電子回折統合プラットフォーム「Synergy-ED」の販売開始  
ー ナノ結晶の測定から解析までを統合した全く新しい電子回折専用機を実現ー

2020年5月よりX線分析機器のトップメーカーである(株)リガクと共同開発を進めてきた極微小結晶の分子構造を解明する電子回折統合プラットフォーム「Synergy-ED」の販売を開始しました。

「Synergy-ED」は、電子線を用いて分子の三次元構造を可視化する、測定から解析までのシームレスなフローを実現したこれまでにない全く新しい電子回折計です。(株)リガクの超高感度高速検出器「HyPix-ED」および単結晶構造解析用ソフトウェア「CrysAlis<sup>Pro</sup> for ED」と、当社の透過形電子顕微鏡で培った技術を組み合わせた成果であり、両社のコア技術のシナジーによるものです。

アカデミアにとどまらず、新薬開発などをはじめとする最先端の現場での研究開発に貢献します。



2021 8月 ショットキー電界放出形走査電子顕微鏡 JSM-IT800(i)/(is)バージョンの販売開始  
ー 次世代プラットフォームを採用したFE-SEMー

2020年5月に発売開始したショットキー電界放出形走査電子顕微鏡 JSM-IT800に、半導体デバイスの観察を得意とするセインレンズバージョン (i)/(is)を開発し、販売を開始しました。

JSM-IT800は、高分解能観察を実現するための"インレンズ"ショットキーPlus 電界放出形電子銃"と次世代型電子光学制御システム"Neo Engine"、高速度元素マッピングを実現するために使いやすさを追求したGUI "SEM Center" に自社製EDSを組み込んだシステムを共通のプラットフォームとしています。また、走査電子顕微鏡の対物レンズをモジュールとして置き換えることで、お客様の様々なニーズに応じた装置を提供します。



持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組み

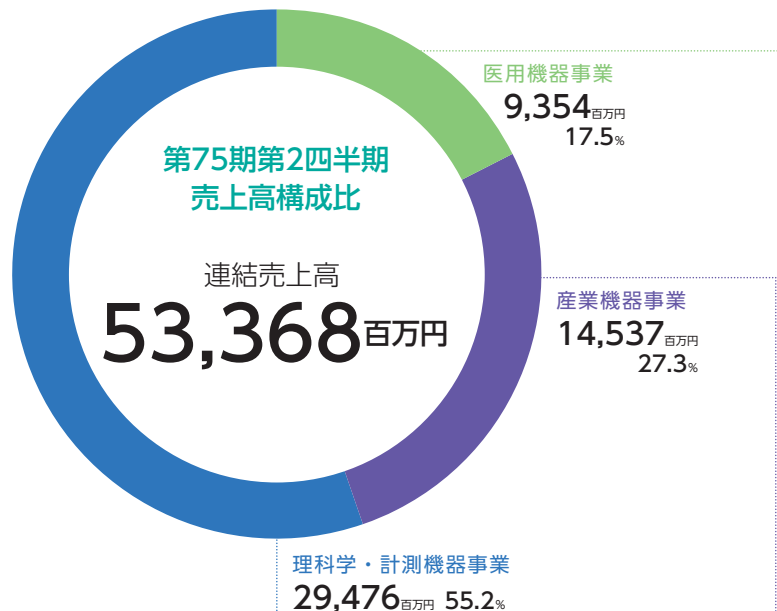
経営理念のとおり、当社は最先端の科学研究に深く関与し、社会の課題解決や発展に取り組んできました。SDGsに貢献できる企業として、更なる発展を目指します。

	マテリアリティ	ターゲット目標
事業活動を通じて達成を目指すSDGs目標	人々の健康と安全、安心に貢献する製品の提供	3 持続可能な消費と生産、11 持続可能な都市とコミュニティ
	科学の進歩と社会の持続的発展に貢献	9 持続可能な産業とイノベーション、17 パートナリシップで目標を達成しよう
	地球環境の保全と持続可能性に貢献	7 持続可能なエネルギー、12 つるぎある消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を
ESGへの取り組みを通じて達成を目指すSDGs目標	地域および社会への特色ある貢献活動	4 質の高い教育をみんなに、17 パートナリシップで目標を達成しよう
	地球環境の保全と持続可能性に貢献	7 持続可能なエネルギー、12 つるぎある消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を
	人材育成と人権の尊重	5 ジェンダー平等を促進しよう、8 働きがいも経済成長も

## ● 営業の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は53,368百万円(前年同期比8.1%増)となりました。損益面におきましては、営業利益は3,676百万円(前年同期比48.9%増)、経常利益は4,749百万円(前年同期比65.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,665百万円(前年同期比89.7%増)となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加が5,434百万円となり、有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより投資活動による資金の減少が438百万円となりました。一方、借入金の返済による支出があったものの、株式の発行による収入等により財務活動による資金の増加が11,279百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の資金は30,200百万円となりました。



### JEOLグループの3つの事業ドメイン

#### 理科学・計測機器事業

受注は好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた輸送の遅延などにより、一部装置で売上高が減少しました。

この結果、当事業の売上高は29,476百万円(前年同期比2.1%減)となりました。



JEM-ARM300F2

#### ▶ 電子光学機器

透過電子顕微鏡、分析電子顕微鏡、電子プローブマイクロアナライザ、光電子分光装置、オージェマイクロプローブ、電子顕微鏡周辺機器、軟X線分光器

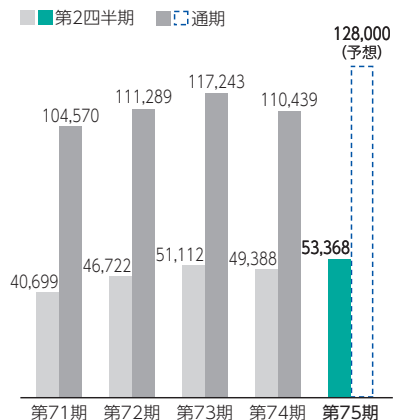
#### ▶ 分析機器

核磁気共鳴装置、電子スピン共鳴装置、質量分析計 (MALDI飛行時間質量分析計、ガスクロマトグラフ質量分析計、液体クロマトグラフ質量分析計)、ポータブルガスクロマトグラフ、X線CT微細構造解析システム

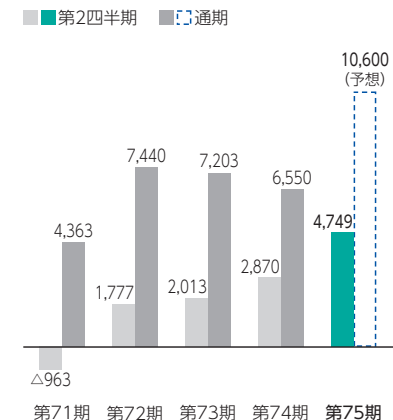
#### ▶ 計測検査機器

走査電子顕微鏡、分析走査電子顕微鏡、電子顕微鏡周辺機器、複合ビーム加工観察装置、集束イオンビーム加工観察装置、薄膜試料作製装置、クロスセクションポリリッシャ™、エネルギー分散形蛍光X線分析装置

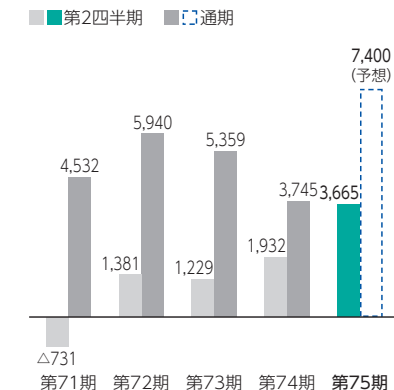
#### 売上高の推移



#### 経常利益の推移



#### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益の推移



#### 産業機器事業

電子ビーム描画装置を中心に、受注・売上が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は14,537百万円(前年同期比20.9%増)となりました。



#### ▶ 半導体関連機器

電子ビーム描画装置 (スポットビーム描画、可変成形ビーム描画)

#### ▶ 金属3Dプリンター

電子ビーム金属3Dプリンター

#### ▶ 成膜関連機器・材料生成機器

直進形電子銃・電源、電子ビーム蒸着用電子銃・電源、ボンバード蒸着源、プラズマ発生用高周波電源、プラズマソース、高周波誘導熱プラズマ装置、粉末供給装置、研究開発用電子ビーム蒸着装置

#### 医用機器事業

国内・海外ともに、受注・売上が好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は9,354百万円(前年同期比29.0%増)となりました。

#### ▶ 医用機器

生化学自動分析装置、臨床検査情報処理システム



## ● 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期末	前期末
	2021年9月30日現在	2021年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>128,037</b>	<b>108,614</b>
現金及び預金	31,941	15,376
受取手形及び売掛金	—	31,630
受取手形、売掛金及び契約資産	27,425	—
商品及び製品	18,330	14,061
仕掛品	44,060	40,688
原材料及び貯蔵品	2,819	2,545
その他	3,824	4,703
貸倒引当金	△366	△391
<b>固定資産</b>	<b>40,196</b>	<b>37,767</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>21,021</b>	<b>19,031</b>
建物及び構築物（純額）	10,575	6,186
機械装置及び運搬具（純額）	1,458	1,283
工具、器具及び備品（純額）	4,592	4,957
土地	3,594	3,593
リース資産（純額）	498	482
建設仮勘定	301	2,529
<b>無形固定資産</b>	<b>3,485</b>	<b>3,621</b>
のれん	1,220	1,301
その他	2,265	2,319
<b>投資その他の資産</b>	<b>15,689</b>	<b>15,114</b>
投資有価証券	10,536	9,814
その他	5,160	5,307
貸倒引当金	△7	△7
<b>繰延資産</b>	<b>114</b>	<b>6</b>
<b>資産合計</b>	<b>168,348</b>	<b>146,388</b>

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末	前期末
	2021年9月30日現在	2021年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>65,927</b>	<b>67,212</b>
支払手形及び買掛金	11,795	12,002
電子記録債務	10,586	9,079
短期借入金	7,284	12,718
1年内償還予定の社債	186	2,736
未払法人税等	1,392	1,072
前受金	19,009	13,890
賞与引当金	1,442	1,463
その他	14,229	14,248
<b>固定負債</b>	<b>25,019</b>	<b>28,176</b>
社債	297	390
長期借入金	13,678	16,867
役員退職慰労引当金	18	15
役員株式給付引当金	362	338
退職給付に係る負債	8,394	8,250
資産除去債務	316	321
その他	1,951	1,993
<b>負債合計</b>	<b>90,947</b>	<b>95,388</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>74,431</b>	<b>48,558</b>
資本金	21,394	10,037
資本剰余金	21,271	9,914
利益剰余金	32,788	29,664
自己株式	△1,022	△1,059
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,969</b>	<b>2,441</b>
その他有価証券評価差額金	4,400	4,113
繰延ヘッジ損益	△22	△25
為替換算調整勘定	△1,247	△1,458
退職給付に係る調整累計額	△160	△188
<b>純資産合計</b>	<b>77,400</b>	<b>50,999</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>168,348</b>	<b>146,388</b>

### 四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	53,368	49,388
売上原価	30,540	29,170
売上総利益	22,828	20,217
販売費及び一般管理費	19,151	17,748
研究開発費	4,126	3,931
その他	15,025	13,816
<b>営業利益</b>	<b>3,676</b>	<b>2,468</b>
<b>営業外収益</b>	<b>1,239</b>	<b>578</b>
受取利息	12	20
受取配当金	90	67
受託研究収入	24	27
為替差益	—	113
持分法による投資利益	270	162
補助金収入	712	—
その他	129	186
<b>営業外費用</b>	<b>167</b>	<b>176</b>
支払利息	81	81
売上債権売却損	3	3
為替差損	20	—
その他	61	91
<b>経常利益</b>	<b>4,749</b>	<b>2,870</b>
<b>特別利益</b>	<b>21</b>	<b>55</b>
固定資産売却益	21	55
<b>特別損失</b>	<b>4</b>	<b>31</b>
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	2	17
投資有価証券評価損	0	13
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>4,766</b>	<b>2,895</b>
法人税、住民税及び事業税	1,272	799
法人税等調整額	△170	163
<b>法人税等合計</b>	<b>1,101</b>	<b>962</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>3,665</b>	<b>1,932</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,665	1,932

(単位:百万円)

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	5,434	662
投資活動による キャッシュ・フロー	△438	△5,686
財務活動による キャッシュ・フロー	11,279	3,097
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△17	29
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	16,257	△1,896
現金及び現金同等物の 期首残高	14,481	14,032
連結子会社の決算期変更 に伴う現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△539	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	30,200	12,135

会社概要

設立 1949年5月30日  
 資本金 213億9,418万円  
 従業員数 連結:3,265名  
 単独:2,098名

役員

代表取締役会長兼CEO 栗原 権右衛門  
 代表取締役社長兼COO 大井 泉  
 取締役兼専務執行役員 福山 幸一  
 取締役兼専務執行役員 田澤 豊彦  
 取締役兼常務執行役員 関 敦司  
 取締役兼常務執行役員 矢口 勝基  
 社外取締役 長久保 敏  
 社外取締役 中尾 浩治  
 社外取締役 菅野 隆二  
 常勤監査役 福島 一則  
 常勤監査役 高橋 充  
 社外監査役 後藤 明史  
 社外監査役 黒岩 法夫

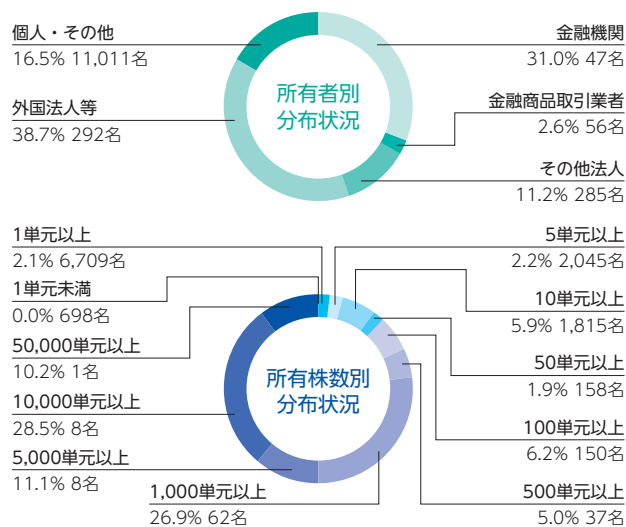
株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 51,532,800株  
 株主数 11,691名  
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	5,280	10.3
(株)日本カストディ銀行(信託口)	2,887	5.6
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,835	5.5
(株)ニコン	2,300	4.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,040	4.0
(株)日本カストディ銀行(信託口4)	1,272	2.5
日本電子共栄会	1,169	2.3
(株)三菱UFJ銀行	1,125	2.2
日本生命保険(株)	1,042	2.0
日本電子グループ従業員持株会	992	1.9

(注)持株比率は自己株式(119,822株)を控除して計算しております。

株式分布状況



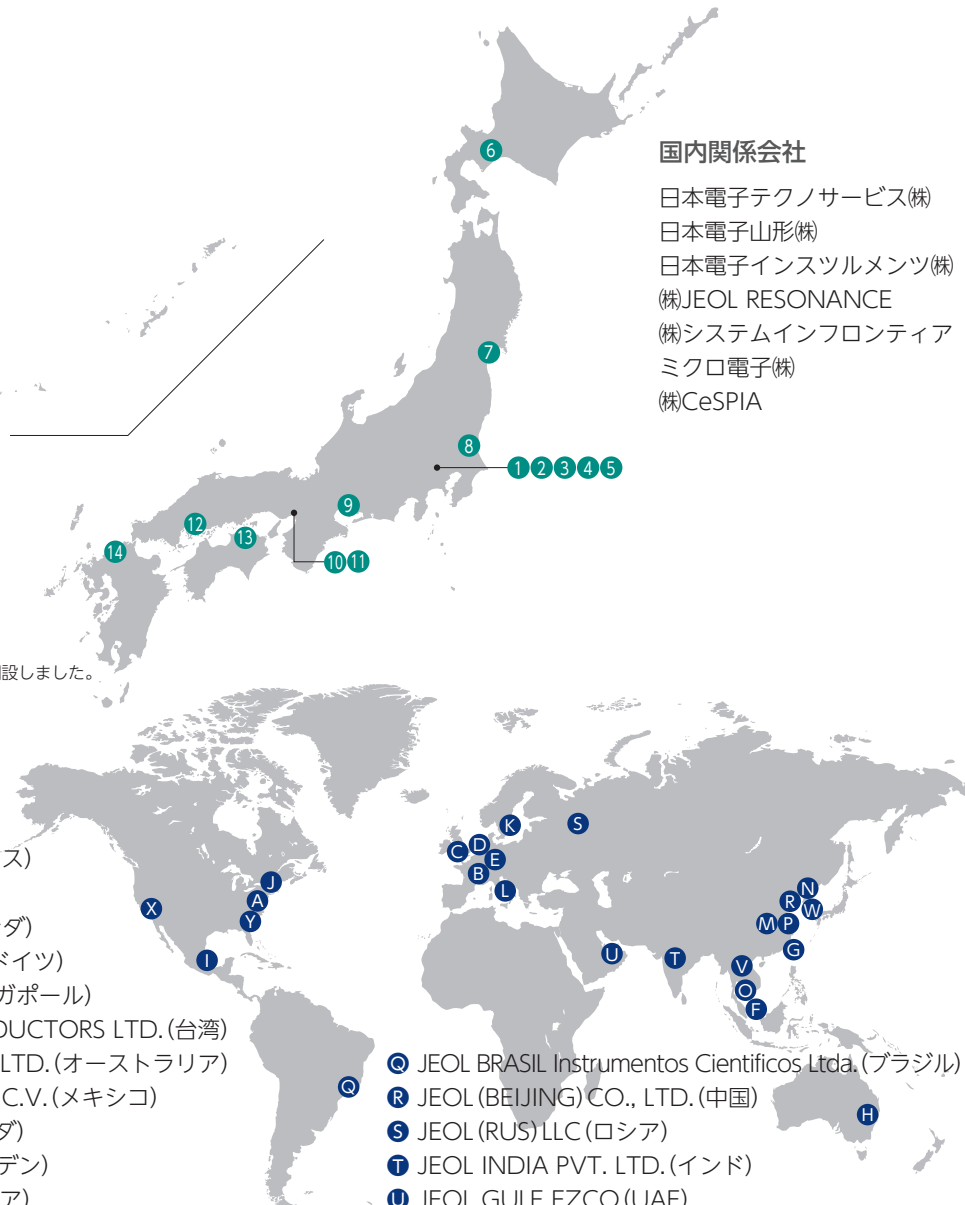
事業所一覧

- 1 本社・昭島製作所
- 2 昭島第二製作所
- 3 東京事務所
- 4 東京支店
- 5 東京第二事務所
- 6 札幌支店
- 7 仙台支店
- 8 筑波支店
- 9 名古屋支店
- 10 大阪支店
- 11 西日本ソリューションセンター
- 12 広島支店
- 13 高松支店
- 14 福岡支店

※2021年10月1日付で武蔵村山製作所を開設しました。

海外関係会社

- A JEOL USA, INC. (アメリカ)
- B JEOL (EUROPE) SAS (フランス)
- C JEOL (U.K.) LTD. (イギリス)
- D JEOL (EUROPE) B.V. (オランダ)
- E JEOL (GERMANY) GmbH (ドイツ)
- F JEOL ASIA PTE. LTD. (シンガポール)
- G JEOL TAIWAN SEMICONDUCTORS LTD. (台湾)
- H JEOL (AUSTRALASIA) PTY. LTD. (オーストラリア)
- I JEOL DE MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコ)
- J JEOL CANADA, INC. (カナダ)
- K JEOL (Nordic) AB (スウェーデン)
- L JEOL (ITALIA) S.p.A. (イタリア)
- M JEOL Shanghai Semiconductors Ltd. (中国)
- N JEOL SEMICONDUCTORS KOREA Co., Ltd. (韓国)
- O JEOL (MALAYSIA) SDN. BHD. (マレーシア)
- P JEOL DATUM Shanghai Co., Ltd. (中国)
- Q JEOL BRASIL Instrumentos Cientificos Ltda. (ブラジル)
- R JEOL (BEIJING) CO., LTD. (中国)
- S JEOL (RUS) LLC (ロシア)
- T JEOL INDIA PVT. LTD. (インド)
- U JEOL GULF FZCO (UAE)
- V JEOL ASIA (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- W JEOL KOREA LTD. (韓国)
- X INTEGRATED DYNAMIC ELECTRON SOLUTIONS, INC. (アメリカ)
- Y IonSense, Inc. (アメリカ)



国内関係会社

- 日本電子テクノサービス(株)
- 日本電子山形(株)
- 日本電子インスツルメンツ(株)
- (株)JEOL RESONANCE
- (株)システムインフロンティア
- マイクロ電子(株)
- (株)CeSPIA